

## < 記入上の注意 >

- 1 記載事項に不正があると受験が無効になる場合があります。  
申込みをするときは、**試験案内をよく読んだ上で記入**してください。
- 2 受験番号※を除くすべての欄にもれなく記入してください。**受験票・写真票にも忘れずに記入**してください。ただし、性別欄への記入は任意とします。
- 3 記入はすべて**自筆**で、インキ又はボールペンを用い、かい書でていねいに書いてください。(筆記が困難なため、本人が記入できない場合は、その旨を付記して、代理人が書いてください。)  
数字は**算用数字**を用い、フリガナはカタカナで、年月日は**和暦**で記入し、元号は該当するものを○で囲んでください。
- 4 **試験区分**（「一般事務」、「学校事務」、「警察事務」）はいずれか一つをはっきりと記入してください。
- 5 現住所は現在居住している住所をマンション名・部屋番号・同居先まで詳しく記入してください。
- 6 県内の連絡先は、現住所と同じ場合は記入不要ですが、現在一時的に県外に居住している人は必ず記入してください。
- 7 在学期間の終期については、採用の時期までに卒業見込みの人は卒業見込み年月を記入してください。
- 8 専門学校・各種学校等は、学歴欄へ記入せず、学校卒業後の経歴欄へ記入してください。  
なお、学校卒業後の経歴がない場合は斜線を引いてください。
- 9 課外活動歴の欄は、活動名等のあとに、いつ頃の活動であるかがわかるようにかっこ書きでその時期を記入してください。
- 10 写真票の地方公務員法第16条については試験案内の「受験資格」のところに記載しているとおりです。
- 11 申込者は**受験票を貼った郵便はがき**に、自分の宛先及び郵便番号を明記してください。